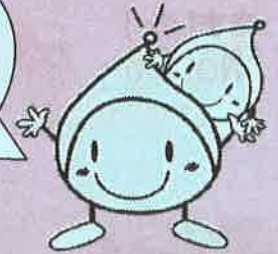


ささえ

地域を元気にす
るため、自主的に
リーダーになって
みませんか？



エールくんとミニさぼちゃん

奇数月発行

団塊世代の地域参加

地域社会を元気にするためには、定年後の余暇を活かした地域づくり、人づくりが求められています。団塊世代の方々を含めたシニア世代が地域と関わりを持つことで、定年後の心豊かなセカンドステージを送ることができます。

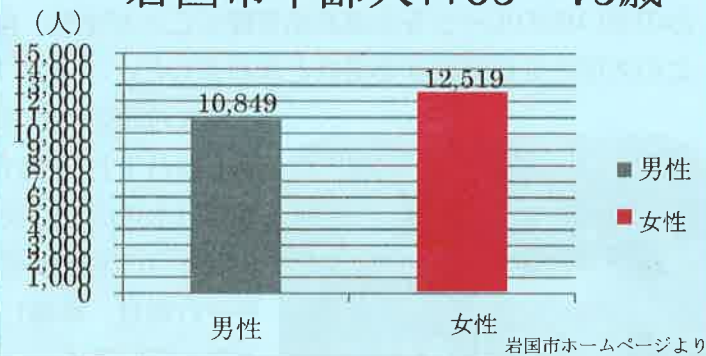
人生 90 年時代。地域と関わりを持つと健康寿命を伸ばすことができるそうです。

先に地域デビューを果たした方々の成功事例を紹介します。※健康寿命＝元気に活動できる年齢。



5月30日(土)に「地域の暮らしを守る！会社人間から社会人間へ～余暇を活かした地域づくり～」を日本余暇会理事長、孫育て検定協会代表理事の山崎勇三氏を招き、講演会を開催しました。特に、子育てについて、「賢く、元気な、人気者の祖父母になろう！」と「孫育て検定」を実施し、また、総労働時間と同じぐらいの定年後の余暇時間の活用について話され、たくさんの事例を紹介していただきました。

岩国市年齢人口65～75歳



岩国市における 65 歳から 75 歳までの人口

活動事例その①

・グランパ雲南

高齢者グループ 6人で結成。各施設や子ども支援施設に訪問し、本の読み聞かせや紙芝居、マジックを行っている。組織に所属しているというイメージでユニホームを作って活動している。

活動事例その②

・大人のかくれ家

山の整備、自然の遊びを通してまちづくりの関心を高めている。竹でドームを作ったり、ツリーハウスを作って、コンサートを開催したり、レストランで食事会を開催している。

活動事例その③

・下駄まちプロジェクト

かつての桐下駄の生産地だった安佐北区で下駄をテーマに地域を活性化しようと下駄積み大会等を開催している。

6月27日(土)岩国市民会館にて「孫育て講座 グランパ、グランマのための食育における世代間ギャップ」を開催しました。19人のグランパ、グランマが参加し、「孫を飽きさせずに一緒に過ごすノウハウ」を学びました。以下講座の内容です。みんなで助け合って「子育て」しましょう。

- ・祖父母側にも行事や体調があるので、孫を預かるのは一日数時間が望ましい。
- ・預ける時、子どもの日常生活やアレルギーや薬などの情報を書いたメモを渡しましょう！
- ・基本的に子育ては夫婦が主体。イベントにプレゼントする程度の経済的支援が望ましい。
- ・夫婦の自立を損なわない程度に支援をしましょう！
- ・お菓子の約束事はママの方針に沿いましょう！
- ・ご飯の口移しはやめましょう！
- ・抱っこは親子のスキンシップ。しっかり抱っこしましょう！
- ・「孫育て検定」を受けましょう。
- ・おばあちゃんの煮物、酢物を食べるのもよし、おじいちゃんから昔の遊びを習うのもよし。



講師の徳澤さん



代表 富田 賢士さん

当日は、古代ハスの観賞会を始め、毛利治朗さん・華鼓月さん等によるコンサートや、ハスの葉や茎で飲み物を楽しむ象鼻杯も行われ、大盛況でした。

また、俳句や短歌、絵手紙、フォトコンテストの募集も行われ、優美な古代ハスの姿をじっくりと観賞された後、その場で俳句を作られる参加者の方々の姿が印象的でした。

森林インストラクターの橋本順子さんによる講演会『万葉の池に住む動植物』では、60年前に万葉の池周辺に生息していた生物や、馴染みの深い桜のルーツを辿るお話を聞くことが出来、自然を作り出すことの大切さを再認識する機会となりました。



コンサートの様子

『周東古代ハスの会』では写真やTシャツを販売したり、古代ハスに関する冊子を作成するなど幅広く活動されています。また、秋に開催する“古代ハス収穫祭”では古代ハスの苗や種の配布をしています。

ハスの花を観賞しながら、お茶と自然を楽しむ場所(オープンカフェ)もあったらいいなと思いました。

同会では会員を募集しています。自然豊かな場所をみんなで守っていきませんか?

『周東古代ハスの会』は、古代ハスを通じ花いっぱい運動の推進と環境美化に努めると共に、会員の親睦融和をはかり、さらに平和と友好のしるしとして他地域との交流を深めることを目的として平成20年に設立されました。同会は、現在会員14名の方が古代ハスを育て、緑化推進とまちの活性化のため取り組んでいます。

周東古代ハスの会は、6月28日(日)に『第6回 周東古代ハスマつり』を古代ハス万葉の池(丸太村入口)で開催しました。



古代ハス観賞会参加者の方々の様子

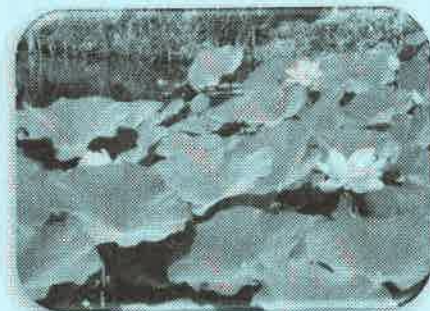


森林インストラクター
橋本 順子先生

丸太村周辺には3つの池があり一番上は八丁トンボが生息する池。二番目は水連の花が咲く池。

三番目の池が島根県より会員が苗を取り寄せ、移植した古代ハスの池となっています。

この池を会員や地域住民と一緒に整備して、今では池の半分まで古代ハスが咲くようになりました。



●お問い合わせ&申込●

周東古代ハスの会

代表 富田 賢士

電話 0827-84-4017



市民活動団体のイベント情報



岩国まちづくり桜の会 会員募集

- 活動内容 岩国市の錦帯橋城下町の賑やか活性化を目的にして、市民活動団体と協力して観光魅力プラス事業を行っています。
- 問合せ 岩国まちづくり桜の会 TEL0827-41-2318 (事務局) 池田 正道

支援センターからのお知らせ

協働のまちづくり推進委員募集

岩国市では、協働のまちづくりの仕組みづくりや促進計画策定について、調査・審議するために「協働推進委員会」を設置します。市民の皆様の意見を審議に反映させるため、委員を募集します。

- 対象 市内に在住している20歳以上の市民
- 定員 5名程度
- 報酬 6,400円 (会議1回当たり)
- 任期 平成27年度中
- 選考方法 8月中旬までに選考委員により決定
- 募集期間 7月25日(土)まで(当日消印有効)
- 申込方法 応募申込書に必要事項を記入し、FAX、メール、または直接いわくに市民活動支援センターへ提出してください。(応募申込書は当センターHPよりダウンロードできます。)



市民と行政との協働のまちづくりをめざして

市民と行政が協働についての基礎知識を養い、共有することで、共にパートナーとして、より良いまちづくりを進めましょう!

- とき・場所・内容
 - ①10月3日(土) 10:00~15:30 シンフォニア岩国
内容: 講義、協働事業を提案するためのワークショップ、協働事業実現に向けて市民より提案
 - ②12月6日(日) 13:30~17:30 岩国市役所 多目的ホール
内容: 市民団体から協働事業についてプレゼン、市職員と合同のワークショップ、事業の実現性についての検討
 - ③12月7日(月) 10:00~12:00 岩国市民会館 第4研修室
内容: 協働についての講義+質疑応答、市職員と市民団体の合同ワークショップの概要説明
- 対象 ①②協働事業提案を希望する市内外の市民団体 ③自治会長
- 講師 川北 秀人 氏 (IHOE[人と組織と地球のための国際研究所]代表者)

報告 「第3回 ママカフェ このゆびとまれ!」

6月27日(土) 岩国市民会館で、「第3回 ママカフェ このゆびとまれ!」を開催しました。約100組の親子やご家族の参加があり、子どもフォトコンテストやらくがきコーナー、食推・母推コーナー、参加団体による制作物や講座、ベビママ体操やベビーマッサージ、孫育て講演会等を行い、各会場は大盛況となりました。また、カフェコーナーでは、子育て中のママ達の情報交換の場として賑わっていました。親子で触れ合う時間をこのイベントで過ごしてもらえたのではと思います。



子どもフォトコンテスト ほのほの賞



Facebook ページ 開設しました

いわくに市民活動支援センターのイベント案内を発信しています☆

たくさんの「いいね!」をお待ちしております。

<https://www.facebook.com/iwakunishien>





助成金ニュース

①内容、対象②助成金額、件数③締切④問合せ先
*詳しくは、センター又は各問合せ先までお願いします。

岩国市中山間地域お助け活動支援事業

- ① 実施対象集落：本市の中山間地域に所在する小規模・高齢化集落等が対象。
助成対象グループ：活動を実施する集落以外の地域に所在する5名以上のグループ
- ② 上限額5万円（2年目以降継続分は3万円）助成率10/10
- ③ 随時募集
- ④ 岩国市 市民協働推進課 Tel：29-5012 または、各支所の地域振興課

第10回コープやまぐち女性いきいき大賞

- ① 山口県内に在住、もしくは主たる事業所があり、5名以上のメンバーで構成された団体。
3年以上の活動経験を持ち、代表者が助成もしくは運営の中心メンバーが女性である団体。
- ② 最優秀賞：30万円、優秀賞：20万円、奨励賞：10万円
- ③ 平成27年9月30日（水）
- ④ 生活協同組合コープやまぐち 女性いきいき大賞事務局 Tel：083-995-3607

グローバルやまぐち国際活動支援事業費補助金

- ① 国際交流事業（県内で実施する事業）、国際協力事業（国外で実施する事業）
- ② 上限額10万円、助成率1/2
- ③ 平成27年8月1日（土）～平成27年9月30日（水）
- ④ 公益財団法人山口県国際交流協会 Tel：083-925-7353



岩国のへえ～ 67の巻

編集後記

幕末維新ゆかりの地 ～^{つうけいじ}通化寺～



大同二年（807年）、岩国市周東の町に、唐から帰国の際に立ち寄った弘法大師が「通化寺」を建立したといわれています。

当寺は、紀州の高野山へ参拝できない者の代参の地として“西の高野”とも呼ばれ、栄えていました。

高杉晋作率いる奇兵隊や、四境戦争で活躍した遊撃軍が、ここに陣営を置き、今も、高杉晋作が遊撃軍隊士におくった激励の詩が書かれた石碑が残されています。遊撃軍の遺品も多く、維新の志士を偲んでこの地を訪れる人々が跡を經ちません。

また、境内には雪舟作の庭園があり、四季折々の花や木が通化寺を彩っています。

参考文献：「周東史誌」「諸隊の雄 遊撃軍」

「協働ってなんだろう？」
「協働はなぜ必要なんだろう？」というテーマで官民の研修が始まっています。

「高齢化率が全国平均より早く上昇し、財政も厳しくなる！」「インフラ維持の経費が高む！もっと行政も住民も危機感を持って！」と講師がメッセージを送っていただきました。

ここでプラスと取るかマイナスと取るかで協働の進み方は変わると思います。

地域で何が困っているのか、どう解決したらいいのか、データ分析をもとに、住民自ら進んで取り組んでいる地域は元気です。

支援センター利用状況(5、6月)

- ・印刷、コピー、大判プリンター 275件
- ・相談 39件
- ・登録団体数 82団体(のべ数)

発行：いわくに市民活動支援センター

〒741-0062 岩国市岩国 4-4-15
(岩国市中央公民館 3階)

TEL: 0827-44-0288 FAX: 0827-44-0324

E-mail: shien@sky.icn-tv.ne.jp

HP: <http://www.sky.icn-tv.ne.jp/~shien/>

Facebook: <https://www.facebook.com/iwakunishien>